

日本の出生動向：1990年

廣嶋 清志・山本千鶴子

1. はじめに

1990年の日本の出生動向を人口動態統計を用いて報告する¹⁾。出生率の計算方法は以下のように前回²⁾までと基本的に同じである。

(1)出生数は外国籍の出生児を含む日本国内における総出生児数とする。出生率の算定にはこれを分子とし、外国人人口を含む総人口を分母とする。したがって、統計情報部などの公表数値とは異なる³⁾。

人口動態統計の公表出生数は日本国籍のもの（したがって、父または母の少なくともどちらか一方が日本人であるもの）に限定され、外国籍の出生（父母の国籍がともに外国）が除外されている。これは日本における出生数の代表値として問題があるばかりでなく、出生率の分母人口を日本人人口とするのも、外国人を含む総人口とするのも不合理になる。

父母の国籍（2区分）の組み合わせ別出生数は表2に示す通りで、1990年の出生総数のうち父母の少なくともどちらか一方が外国人であるものは1.1%である。日本人人口を分母にした場合、出生率は男で0.41%以上、女で0.71%以上過大となる。1990年の女性の合計出生率は、1.54とされているが、これは外国人女性による日本人出生分0.01以上過大であり、より正確には後述のように1.53となる。

なお、婚姻総数において日本人が外国人と婚姻した割合0.77%（男）あるいは2.76%（女）（1990年⁴⁾）に比べてこの数値は、とくに女性で小さい。日本人男性と婚姻しても、子供を生まない外国人女性がかかりいるのかもしれない。

(2)率の分母となる年齢別人口は、総務庁統計局が国勢調査人口に基づいて年齢不詳（326,357人）を按分した人口を用いて、今回算出した年平均人口とする⁵⁾。

(3)男女計の出生率は、各年齢の男と女の出生率を、男と女の人口を重みとして加重平均したものであるが、各年齢別の男女計の人口に対する男と女の出生数の合計の比率である。

(4)男の出生率において、非嫡出出生数は嫡出出生の父の年齢分布によって按分する。なお、非嫡出出生数は1990年に13,588（うち外国人549）で、前年から若干増加し、総出生数1,229千の1.1%になった⁶⁾。

(5)女の14歳以下の出生数（1990年14歳18）は15歳に加えられ、50歳以上の出生数（1990年0）はそのままとする。

1) 人口動態統計の利用にあたっては厚生省大臣官房統計情報部の協力を得た。

2) 廣嶋清志・坂東里江子、「日本の出生動向：1988～1989年」、『人口問題研究』、第46巻4号、1991年1月、pp.66-73。

廣嶋清志・坂東里江子、「日本人口の出生力に関する指標：男子、女子および男女計：1970～1987年」、『人口問題研究』、第45巻3号、1989年10月、pp.29-40。

3) 従来からの方法による日本国籍出生数と10月1日日本国籍女子人口を用いた出生率は下記参照。

石川晃、「全国人口の再生産に関する指標：1990年」、『人口問題研究』、第47巻4号、1992年1月、pp.78-84。

4) 廣嶋清志・山本道子、「日本の婚姻動向：1990年」、『人口問題研究』、第47巻4号、1992年1月、pp.85-97。

5) 年平均人口の計算方法は注2文献（1989年）参照。

6) 日本人の非嫡出出生に限定されているが、下記参照。

人口問題研究所、『人口統計資料集 1990～91』（研究資料269号）、1991年3月、表5-6。

(6)父または母の年齢不詳の出生数(父0, 母23非嫡出)は既知の年齢分布で配分する。

(7)「既婚合計出生率」(ever-married total fertility rate, ETFR)を計算する。これは、合計出生率(total fertility rate, TFR)を合計初婚率(total first marriage rate, TFMR)⁷⁾で割ったもので、合計出生率の動向を初婚の動向と婚姻出生率の動向に分解するためのものである。これは年齢別初婚率と年齢別出生率が一定(したがって、初婚年齢別結婚持続期間別出生率が一定)と仮定したとき、既婚者が生涯に持つ平均的な出生児数を意味する⁸⁾。したがって、 $TFR = TFMR \cdot ETFR$ 。

2. 女性の23歳以下で出生数増加

出生数は1990年に1,229千件となり、前年より2万5千件少なくなった(表1)が、これは1988-89年における減少より小さく、下げ止まり傾向が現れている。1991年には出生数増加に転ずるものとみられる。

このうち外国籍の出生児数は、1987年以後7千人をやや上まわる程度で、総出生数の0.6%にとどまっている。また、父母の国籍別の日本国籍の出生児数は、統計がとれる1987年以後母外国人および

表1 日本における国籍別出生児数
Births by nationality in Japan

年次	出生児数			割合(%)		
	総数	日本人	外国人	総数	日本人	外国人
1955	1,746,299	1,730,692	15,607	100.00	99.11	0.89
1960	1,619,175	1,606,041	13,134	100.00	99.19	0.81
1965	1,837,476	1,823,697	13,779	100.00	99.25	0.75
1970	1,947,944	1,934,239	13,705	100.00	99.30	0.70
1975	1,914,707	1,901,440	13,267	100.00	99.31	0.69
1980	1,588,632	1,576,889	11,743	100.00	99.26	0.74
1985	1,437,375	1,431,577	5,798	100.00	99.60	0.40
1986	1,388,878	1,382,946	5,932	100.00	99.57	0.43
1987	1,354,232	1,346,658	7,574	100.00	99.44	0.56
1988	1,321,619	1,314,006	7,613	100.00	99.42	0.58
1989	1,253,981	1,246,802	7,179	100.00	99.43	0.57
1990	1,229,044	1,221,585	7,459	100.00	99.39	0.61

1985年から改定国籍法が施行された。

7) その定義などについて下記参照。

廣嶋清志・山本道子、「日本の婚姻率：1970～87年」、『人口問題研究』、第46巻1号、1990年4月、pp.67-82。

8) 詳しくは、注2文献(1991年)参照。この分解のしかたは、タイミングの効果が主に初婚率の方であって、既婚出生率の方にほとんどスケジュールの変化がなくタイミングの効果が含まれていないときに有効なものである。

稲葉は初婚過程を入れた人口再生産モデルを用いて、TFRが初婚確率の密度関数(初婚年齢分布)で荷重された初婚年齢別結婚出生率の積分であることを示した。したがって、この合計既婚出生率(ETFR)は、ある年次の人口の初婚年齢別構成をその年次に発生した年齢別初婚率によって代替して、初婚年齢別結婚出生率を荷重平均した年次別結婚出生率であるといえる。つまり、合計初婚率の分離のためには結婚出生率が初婚年齢から独立の条件は要らない。

稲葉寿、「初婚過程によって再生産される人口のダイナミカル・モデルとその応用」、『人口問題研究』、第47巻4号、1992年1月、pp.15-34。

父外国人のものはそれぞれ少しずつ増加し、1990年には両方合わせて日本国籍出生数の1%を超えた(表2)。しかし、これはさきに述べたように、夫妻の一方が外国人である婚姻の割合3.53%に比べて非常に小さい。

表2 日本における父母の国籍別日本国籍出生児数
Births of Japanese nationality by nationality of parents

年次	実数				割合(%)			
	総数	父日本人 母日本人	父日本人 母外国人	父外国人 母日本人	総数	父日本人 母日本人	父日本人 母外国人	父外国人 母日本人
1987	1,346,658	1,336,636	5,538	4,484	100.00	99.26	0.41	0.33
1988	1,314,006	1,302,832	6,615	4,559	100.00	99.15	0.50	0.35
1989	1,246,802	1,234,626	7,390	4,786	100.00	99.02	0.59	0.38
1990	1,221,585	1,207,899	8,695	4,991	100.00	98.88	0.71	0.41

父日本人、母日本人には母日本人の非嫡出児(1989年 12,826人、1990年 13,039人)を含む。

表3 出生数および出生率の要因分解：1920～90年
Components of births and birth rate

年次	実数(1,000人)				率					
	出生数 Births (1)	20～34歳 有配偶 女子人口 (2)	20～34歳 女子人口 (3)	総人口 (4)	粗出生率 C B R (1)/(4)	20～34歳 女子有配 偶出生率 (1)/(2)	20～34歳 女子有配 偶率 (2)/(3)	20～34歳 有配偶女子 割合 (3)/(4)	20～34歳 有配偶女子 人口割合 (2)/(4)	20～34歳 出生率 (1)/(3)
1920	2,026	4,720	5,986	55,963	0.036	0.429	0.788	0.107	0.084	0.338
1925	2,086	5,163	6,419	59,737	0.035	0.404	0.804	0.107	0.086	0.325
1930	2,085	5,543	7,107	64,450	0.032	0.376	0.780	0.110	0.086	0.293
1935	2,191	5,834	7,857	69,254	0.032	0.376	0.742	0.113	0.084	0.279
1940	2,116	5,739	8,304	71,933	0.029	0.369	0.691	0.115	0.080	0.255
1947	2,679	..	9,546	78,101	0.034	0.122	..	0.281
1950	2,338	6,689	10,095	83,200	0.028	0.349	0.663	0.121	0.080	0.232
1955	1,746	7,117	11,355	89,276	0.020	0.245	0.627	0.127	0.080	0.154
1960	1,619	7,693	12,079	93,419	0.017	0.210	0.637	0.129	0.082	0.134
1965	1,837	8,408	12,889	98,275	0.019	0.219	0.652	0.131	0.086	0.143
1970	1,948	8,927	14,211	103,720	0.019	0.218	0.628	0.137	0.086	0.137
1975	1,915	9,692	14,497	111,940	0.017	0.198	0.669	0.130	0.087	0.132
1980	1,589	8,907	13,727	117,060	0.014	0.178	0.649	0.117	0.076	0.116
1985	1,437	7,217	12,406	121,049	0.012	0.199	0.582	0.102	0.060	0.116
1986	1,389	6,909	12,103	121,672	0.011	0.201	0.571	0.099	0.057	0.115
1987	1,354	6,663	12,059	122,264	0.011	0.203	0.553	0.099	0.054	0.112
1988	1,322	6,453	12,056	122,783	0.011	0.205	0.535	0.098	0.053	0.110
1989	1,254	6,330	12,139	123,255	0.010	0.198	0.521	0.098	0.051	0.103
1990	1,229	6,111	12,186	123,611	0.010	0.201	0.501	0.099	0.049	0.101

総務庁統計局『国勢調査報告』, 厚生省統計情報部『人口動態統計』による。1955年以降の出生数は外国人および非嫡出出生児を含む。有配偶人口、有配偶率は1986, 87, 88年は研究資料『わが国女子の世代結婚表：1950～87年』, 1989年は総務庁統計局『労働力調査報告』による。(1)/(2)：20～34歳女子有配偶出生率は出生がこの女子からのみ発生すると仮定した出生率。これにより次のように分解される。

出生数：(1) = (1)/(2) × (2)/(3) × (3), あるいは粗出生率：(1)/(4) = (1)/(2) × (2)/(3) × (3)/(4)。

1990年の年齢別の出生数をみると第2次ベビーブーム世代に近い世代がしだいに結婚・出産を始め、ひのえうまの1966年生れの24歳より若い年齢では、出生数がわずかであるが増加し始めた。女性22歳以下の出生数は1988年94,871、1989年95,102、1990年98,632、また23歳以下の出生数は1989年143,495、1990年147,037と増加してきた。これはあとでみるように、22歳以下での年齢別出生率の低下が限界に達するとともに、23歳以下の人口が大きくなっているからである。

長期的にみるため、1990年の出生数1,229千件を第2次ベビーブームの始まる1970年の1,948千件と対比してみると、出生数は72万件少なく、その63.1%に低下した(表3)。出生の中心である女子20~34歳人口⁹⁾に焦点を当ててその減少の要因を検討してみると、その人口は1970年には第1次ベビーブーム世代を含み14,211千人とかなり大きく、1990年には12,186千人、85.8%に減少している。その有配偶率は同じ期間に62.8%から50.1%に、つまり、79.8%に低下している。またこの有配偶出生率は同様に21.8%から20.1%に、つまり92.2%に低下している。いかえると、出生数の倍率0.631は $0.858 \times 0.798 \times 0.922$ に分解される。したがって、この間の出生数減少には、第1に有配偶率の低下、第2には女子人口の減少、第3には有配偶出生率の低下がこの大きさの順で寄与していることがわかる。以上は、年齢を考慮していないので、粗っぽい計算ともいえるが、この間の出生数減少の要因を説明するには十分といえる。

3. 合計出生率は1.53に、既婚合計出生率は2を割る

合計出生率は1970~1990年にかけて男は2.18から1.47へ、女は2.13から1.53へ、男女計では2.16から1.50へ、それぞれ低下している(表4)。これらの低下傾向は1989~90年においてやや弱まったといえる。

これに対して、既婚合計出生率は男は1970~1989年にかけて2.08から1.95へ、女は2.13から1.98へと低下した(表4)が、男女とも1970~1988年にはおおむね2.1に達していた。つまり、1980年代に合計出生率で男では1.49~1.62、女で1.56~1.73と非常に低かったのは、合計初婚率が70数%程度と初婚の発生が少ないことによるものであり、既婚者の平均子供数は一応2.1を維持してきたものとい

表4 性別合計出生率、合計初婚率および既婚合計出生率
Total fertility rate, total first marriage rate, and ever-married total fertility rate

年次	男 male			女 female			男女計 合計出生率
	合計出生率	合計初婚率	既婚合計出生率	合計出生率	合計初婚率	既婚合計出生率	
1970	2.18389	(1.05)	(2.08)	2.12997	(1.00)	(2.13)	2.15603
1975	1.99339	(0.84)	(2.37)	1.90727	(0.89)	(2.14)	1.94907
1980	1.62227	0.75600	2.14586	1.73239	0.84861	2.04144	1.67587
1985	1.61587	0.77868	2.07514	1.78416	0.82950	2.15089	1.67975
1986	1.58916	0.75359	2.10879	1.70865	0.79505	2.14911	1.64671
1987	1.57583	0.73758	2.13649	1.67979	0.77086	2.17911	1.62557
1988	1.55693	0.74627	2.08628	1.64625	0.77507	2.12400	1.59918
1989	1.48978	0.74023	2.01259	1.56256	0.76671	2.03801	1.52364
1990	1.47364	0.75633	1.94841	1.53444	0.77285	1.98543	1.50284

既婚合計出生率は合計出生率を合計初婚率で割ったもの。したがって、合計出生率=合計初婚率×既婚合計出生率。()内の合計初婚率は下記による。

阿藤誠、「出生率低下の原因と今後の見通し」、『人口問題研究』,第171号,1984年7月, pp.22-35.

9) 20~34歳女子の出生数が総出生数に占める割合は、1970年に94.2%、1990年に90.2%である。

える¹⁰⁾。ところが、1990年には既婚合計出生率は男女とも2.0を割っており、1980年代末以後、既婚者あるいは夫婦の子供数の減少も現れ、これも合計出生率の低下の要因となっているといえる。

以上の結果は、1970年からの出生数減少について要因分解した表3の結果とも比較的良好一致している。

4. 限界に達した若年齢における出生率低下

1990年の年齢別出生率は、1989年に比べて、男では34歳以上で上昇し、それ以下の年齢ではひきつづき低下しているが、22歳以下では再上昇に転じた(表5, 図1)。女では同様に31歳以上で上昇し、それ以下で低下したが、19, 20, 22歳で再上昇に転じた。若年齢での再上昇はその低下がほぼ限界に達したことを示している¹¹⁾。

男の年齢別出生率の最高値は、従来30歳であったが、1990年には31歳(127.95)に移行し、女の年齢別出生率の最高値は、ひきつづき28歳(155.94)であるが、それぞれいずれも値は前年に比べさらに小さくなった。

出生率による平均出生年齢は男では1990年に31.62歳で1975年以来1.13歳上昇したが、女では1990年に28.95歳で1975年以来1.47歳上昇し、女の平均出生年齢の上昇の方が大きい。また、女では出生数による平均年齢(28.92歳)は率によるものより若くなった。今後第3次ベビーブームの接近とともにこの傾向が強まるものと予測される。

5. 有配偶出生率の上昇と低下

有配偶人口に対する年齢別出生率をみると(表6, 図2)、1985年から1990年にかけて、男では33歳以上で上昇、32歳以下で低下したが、20, 21, 22歳では逆に上昇している。女では、30歳以上で上昇、29歳以下で低下したが、21歳以下では逆にほとんど上昇している。若年における有配偶出生率の上昇は結婚前における妊娠¹²⁾、結婚外の妊娠の増加によるとみられる。

平均出生年齢は男では上昇したが、女では低下した。女性では若年での有配偶出生率の上昇が影響したものである。

10) 1980年前後に女性の有配偶出生率は一時的に低下している。詳しくは注2文献(1991年)参照。

11) 1970~1988年の年齢別出生率は、注2文献(1991年)参照。

12) 1987年第9次出産力調査によると1980-84年結婚コーホートの妻は25%近くが結婚前に妊娠した。

大谷憲司、「第7章 累積過程」、『昭和62年第9次出産力調査——第I報告書——日本人の結婚と出産』(調査研究報告資料)、厚生省人口問題研究所、1988年11月、pp.57-60。

图1 性, 年龄别出生率 Birth rate by age and sex

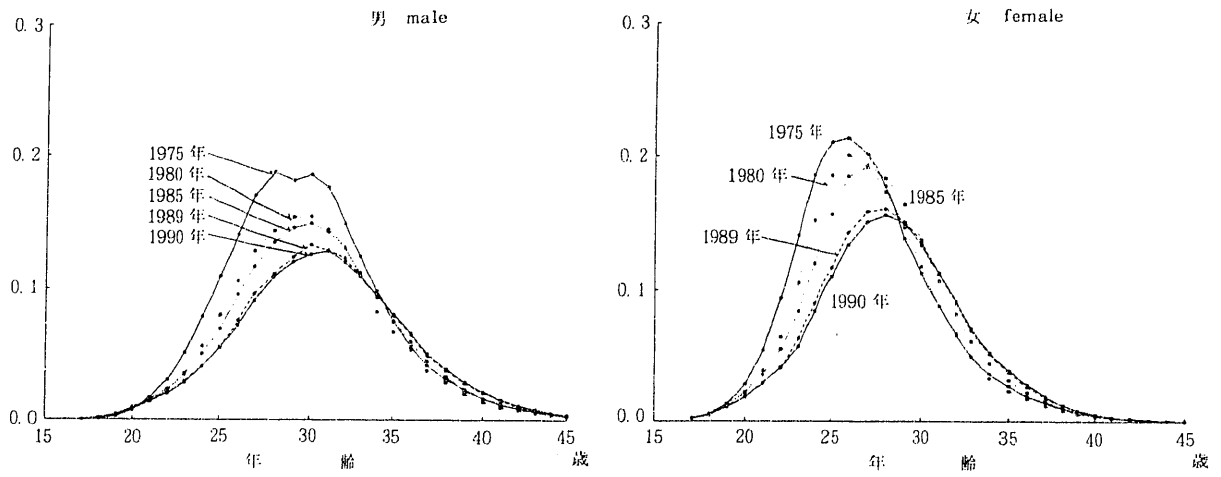


图2 性, 年龄别有配偶出生率
Birth rate for currently-married by age and sex

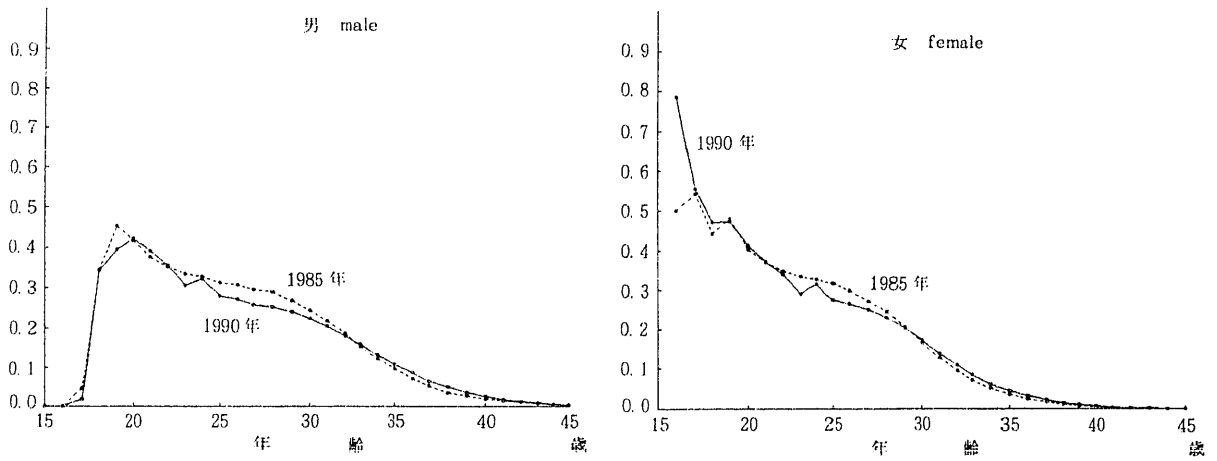


表5. 性、年齢別出生数および出生率：1989、1990年
Births and birth rate by age and sex

年 齢	男 male			女 female			男 女 計		
	1990 年		1989 年	1990 年		1989 年	1990 年		1989 年
	出生数	出生率(‰)	出生率(‰)	出生数	出生率(‰)	出生率(‰)	出生数	出生率(‰)	出生率(‰)
総 数	1,229,044	20.26	20.72	1,229,044	19.55	20.03	2,458,088	19.90	20.37
15	—	—	—	113	0.12	0.13	113	0.06	0.06
16	—	—	—	591	0.60	0.57	591	0.29	0.28
17	21	0.02	0.02	1,966	1.96	2.08	1,987	0.97	1.02
18	1,265	1.23	1.14	4,605	4.69	4.77	5,870	2.91	2.91
19	3,659	3.65	3.47	10,301	10.75	10.71	13,960	7.12	6.99
20	7,981	8.18	7.86	17,353	18.64	18.46	25,334	13.29	13.02
21	13,093	13.82	13.27	26,232	28.80	29.00	39,325	21.16	20.94
22	18,554	19.95	19.23	37,471	41.72	40.98	56,025	30.65	29.87
23	24,436	28.14	29.00	48,405	57.45	63.59	72,841	42.57	45.95
24	31,457	40.50	40.64	63,326	83.84	90.20	94,783	61.87	64.94
25	47,780	54.86	55.29	93,312	110.16	116.66	141,092	82.12	85.38
26	59,970	72.25	75.79	108,070	133.78	143.02	168,040	102.60	108.83
27	73,106	90.57	95.87	118,826	150.96	158.80	191,932	120.38	126.91
28	85,282	108.46	110.79	119,700	155.94	160.88	204,982	131.91	135.52
29	93,573	119.87	123.35	114,440	150.03	151.21	208,013	134.78	137.13
30	98,900	125.29	132.76	103,490	133.82	136.60	202,390	129.51	134.67
31	101,859	127.95	128.33	88,187	112.87	112.06	190,046	120.48	120.27
32	92,966	119.50	122.61	70,098	91.68	89.91	163,064	105.71	106.41
33	84,576	108.96	109.98	54,175	71.02	69.47	138,751	90.16	89.91
34	77,265	94.76	94.51	42,410	52.96	51.52	119,675	74.04	73.24
35	67,365	80.19	79.26	32,220	39.09	37.33	99,585	59.84	58.45
36	56,632	66.12	64.96	23,408	27.71	26.05	80,040	47.05	45.61
37	45,705	50.26	48.89	16,970	18.83	17.62	62,675	34.61	33.33
38	37,270	38.57	37.39	11,995	12.53	12.06	49,265	25.61	24.79
39	29,680	28.70	27.59	8,486	8.29	7.83	38,166	18.54	17.76
40	23,483	20.93	19.88	5,717	5.14	4.91	29,200	13.07	12.43
41	17,753	14.78	14.30	3,619	3.04	2.89	21,373	8.94	8.63
42	12,750	10.74	9.94	2,071	1.76	1.69	14,821	6.27	5.84
43	7,774	7.54	6.74	975	0.96	0.91	8,749	4.27	3.83
44	3,714	4.96	4.61	286	0.38	0.38	4,000	2.68	2.49
45	2,868	3.50	3.31	125	0.15	0.17	2,993	1.82	1.73
46	2,420	2.60	2.37	65	0.07	0.07	2,485	1.33	1.21
47	1,668	1.80	1.70	23	0.02	0.02	1,691	0.91	0.86
48	1,273	1.35	1.27	8	0.01	0.01	1,281	0.68	0.64
49	806	0.89	0.91	5	0.01	0.01	811	0.45	0.46
50	555	0.68	0.65	—	—	—	555	0.34	0.32
51	355	0.47	0.49	—	—	—	355	0.23	0.24
52	282	0.35	0.41	—	—	—	282	0.17	0.20
53	232	0.28	0.26	—	—	—	232	0.14	0.13
54	193	0.24	0.20	—	—	—	193	0.12	0.10
15 - 19	4,946	0.96	0.89	17,576	3.60	3.55	22,522	2.25	2.19
20 - 24	95,521	21.24	21.50	192,787	44.45	47.49	288,308	32.63	34.20
25 - 29	359,711	88.27	91.60	554,349	139.55	145.76	914,059	113.58	118.28
30 - 34	455,567	115.19	117.26	358,360	92.29	91.29	813,926	103.84	104.40
35 - 39	236,652	51.37	49.87	93,078	20.45	19.20	329,730	36.00	34.62
40 - 44	65,474	12.38	12.01	12,669	2.42	2.41	78,143	7.42	7.23
45 - 49	9,035	2.00	1.94	226	0.05	0.06	9,261	1.02	0.99
50 - 54	1,617	0.40	0.40	—	—	—	1,617	0.20	0.20
55 - 59	413	0.11	0.11	—	—	—	413	0.05	0.02
60 - 64	80	0.02	0.03	—	—	—	80	0.01	0.03
65 - 69	25	0.01	0.01	—	—	—	25	0.00	0.01
70 - 74	3	0.00	0.00	—	—	—	3	0.00	0.00
75歳以上	1	0.00	0.00	—	—	—	1	0.00	0.00
合 計	1,229,044	1,473.64	1,489.78	1,229,044	1,529.76	1,562.56	2,458,088	1,499.99	1,523.87
平均年齢	31.82	31.62	31.54	28.92	28.95	28.83	30.37	30.27	30.17

出生数、人口に外国人を含む。人口は年平均人口。総数行の率は総人口に対する率。合計行の率は合計出生率。男女計欄の出生数は男および女の年齢別出生数の計。したがって、男女計の総数行の出生数は出生総数の2倍、出生率は粗出生率の2倍。
1989年の5歳階級、合計の率は男、女、男女計ともすべて、平均年齢は男女計のみについて、注2文献(1991年)の値を訂正した。

表6 性、年齢別有配偶者に対する出生率：1985、1990年
Birth rate for currently-married by age and sex

(%)

年 齢	男		女		男 女 計	
	1985年	1990年	1985年	1990年	1985年	1990年
総 数	47.01	38.96	47.00	39.03	47.01	38.99
15	—	—	1,071.92	1,772.08	910.66	1,212.52
16	—	—	500.19	785.03	468.25	686.09
17	46.78	18.68	541.93	554.40	484.56	424.33
18	355.09	342.54	442.48	470.46	419.59	435.42
19	451.39	394.83	478.88	472.42	471.58	449.28
20	416.12	421.60	402.28	413.74	406.30	416.19
21	375.20	391.38	370.00	371.69	371.55	378.02
22	352.23	354.38	347.29	339.86	348.76	344.54
23	334.05	305.34	334.99	289.97	334.71	294.95
24	327.07	322.93	327.49	315.19	327.37	317.72
25	311.92	280.72	316.57	275.21	315.10	277.05
26	306.52	270.68	298.99	264.69	301.54	266.80
27	294.97	258.04	272.15	248.43	280.40	252.01
28	290.22	252.06	244.23	228.06	261.94	237.47
29	268.02	240.64	205.14	203.55	230.79	218.72
30	243.24	223.03	165.00	171.84	198.48	193.55
31	217.58	204.27	127.97	137.72	167.62	166.86
32	185.64	178.38	96.06	109.09	136.65	140.12
33	152.90	157.99	71.33	84.78	108.99	118.15
34	123.33	131.07	52.04	62.00	85.56	93.97
35	97.82	106.65	36.25	44.97	65.60	73.87
36	72.26	87.45	24.67	32.33	47.70	58.35
37	52.52	64.92	16.85	21.79	34.33	42.26
38	34.08	49.10	10.30	14.51	22.11	31.07
39	26.65	36.12	7.59	9.65	17.06	22.43
40	19.22	26.10	4.78	6.02	11.94	15.79
41	13.00	17.55	2.78	3.46	7.87	10.39
42	9.53	12.48	1.78	1.99	5.66	7.19
43	6.54	7.82	0.86	0.98	3.72	4.41
44	4.33	5.94	0.45	0.46	2.41	3.21
45	3.16	4.24	0.19	0.18	1.69	2.21
46	2.24	2.90	0.08	0.08	1.18	1.49
47	1.61	2.05	0.05	0.03	0.84	1.05
48	1.20	1.50	0.01	0.01	0.62	0.76
49	0.88	0.97	0.01	0.01	0.46	0.50
50	0.57	0.73	—	—	0.29	0.37
51	0.44	0.53	0.00	—	0.23	0.27
52	0.35	0.39	—	—	0.18	0.20
53	0.25	0.31	—	—	0.13	0.16
54	0.20	0.26	—	—	0.10	0.13
15 - 19	397.21	347.40	477.77	488.83	458.74	448.71
20 - 24	343.98	338.51	342.36	326.41	342.84	330.33
25 - 29	289.93	256.52	261.14	239.69	271.76	246.05
30 - 34	178.02	176.02	98.84	111.70	134.70	140.42
35 - 39	57.98	66.40	19.90	23.71	38.50	44.02
40 - 44	10.16	14.39	2.04	2.73	6.11	8.50
45 - 49	1.81	2.26	0.07	0.06	0.96	1.17
50 - 54	0.37	0.44	0.00	0.00	0.19	0.23
55 - 59	0.10	0.12	—	—	0.05	0.06
60 - 64	0.03	0.03	—	—	0.02	0.01
65 - 69	0.01	0.01	—	—	0.01	0.01
70 - 74	0.00	0.00	—	—	0.00	0.00
75歳以上	0.00	0.00	—	—	0.00	0.00
平均年齢	25.91	26.15	21.94	21.18	22.79	22.38

出生数、人口に外国人を含む。人口は10月1日人口。